

## PRESTO® W80

5Lのガラス反応容器を  
+20°Cから+100°Cに加熱運転

### 目的：

このケーススタディは5リットルガラスリアクターを使い、  
JULABO PRESTO® W80の加熱能力をテストします。  
JULABO PRESTO® W80は1mの金属配管によって接続されています。  
温度は、+20°Cから+100°C間で加熱運転します。

### 環境：

室温	+20 °C
湿度	45%
電源	230 V / 50 Hz

### 試験条件：

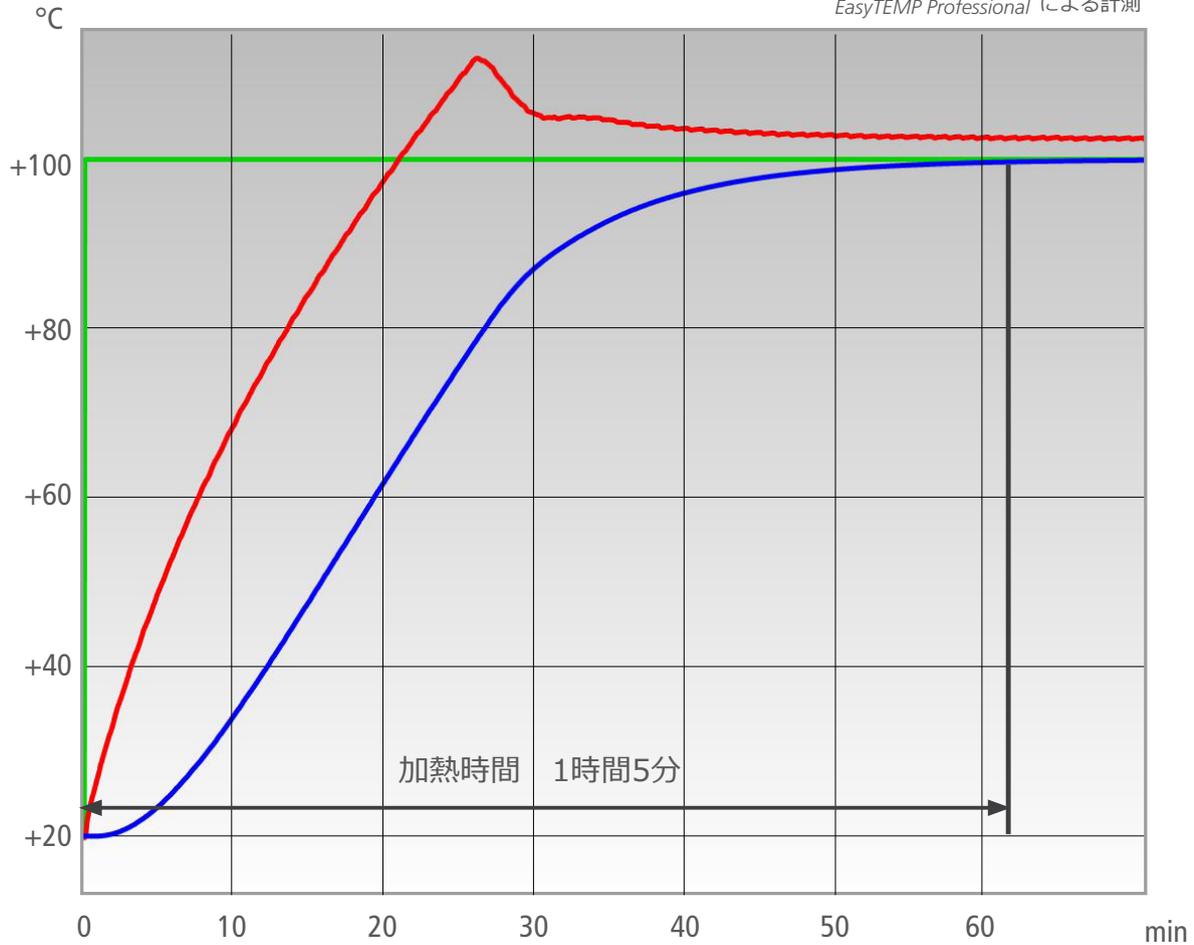
使用機種	PRESTO® W80
冷却能力	+20 °C 1.2 kW 0 °C 1.2 kW -20 °C 1.1 kW
ヒーター容量	1.8 kW
バンドリミット	設定していません
ポンプ圧	0.4 bar
循環液	ユラボ社製 サーマル HL 80
反応容器	5 Lガラス製反応容器 (Rettberg) (容器内にはユラボ社製サーマルHL80を 5L充填しています)
ジャケット容量	2.5L
温度制御	外部制御 (ICC)



試験結果 :

1時間5分で+20℃から+100℃へ加熱運転しました。  
オーバーシュートすることなく+100℃に達しました。

EasyTEMP Professional による計測



- 設定温度
- ガラス反応容器内温度
- ガラス反応容器ジャケット温度

その他機能 :

弊社循環ホースと  
アダプターで  
捻じれなく  
接続できます。



その他機能 :

PTFE コーティング  
された堅牢な  
Pt100センサーが  
使用可能です。

